

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

【お問い合わせ先】

淡路県民局洲本土木事務所
企画調整担当

〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5

TEL：0799-26-2055

FAX：0799-24-4513

URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/

sumotodoboku/index.html

e-mail：sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

【発行：2021年7月19日】

2021

vol.58

社会基盤整備の取り組みについて

安全・安心な淡路島を目指し、自然災害に『備える』、日々の暮らしを『支える』、次世代に持続的な発展を『つなぐ』の3つの視点のもと、緊急かつ重要な事業を計画的・効率的に進めます。

I 備える ～自然災害に備える防災・減災対策の強化～

南海トラフ地震等による最大クラスの津波や頻発する豪雨等による水害に備えるため、被害を最小限にとどめるよう地震・津波対策、総合治水対策、土砂災害対策を行います。

福良港湾口防波堤事業 南あわじ市福良

津波を湾の入り口で低減させるため、防波堤や水門を整備しています。



今は水門3基の設置に向けて、工事を進めています。
港湾第2課 池藤主任

洲本港陸閘設置工事 洲本市

津波被害低減のため、水の浮力で起き上がるゲートを設置しました。



水が来ると、その力を利用して、ゲートが立ち上がる仕組みになっています。
港湾第2課 石田主任

II 支える ～日常生活や地域を支える社会基盤の充実～

地域の交流を支える道路の整備、交差点の渋滞対策や歩行者の安全対策、スポーツ・レクリエーションを安心・快適に利用できるよう公園の改築等を行います。

交差点改良工事 淡路市中持

道幅が狭い箇所を拡げるとともに、5差路で迷いやすい複雑な交差点形状を改良しました。



地域の方の協力により、予定通り工事が完成出来ました。
道路第1課 青田主任

交差点改良工事 南あわじ市湊

歩道の拡幅、自転車レーンの設置による安全な通行空間の創出、渋滞の緩和を図るため、交差点での右折レーンを設置しました。



地元及び利用者の皆さまのご理解とご協力により、島内唯一の渋滞交差点の緩和を図ることができました。
道路第2課 上砂職員

III つなぐ ～次世代につなぐ社会基盤の形成～

地域活性化の基盤となる基幹道路ネットワークの整備、今後急速に進展することが懸念される社会基盤施設の老朽化対策などを行います。

排水機場改築工事 南あわじ市松帆西路

浸水被害を軽減するため、古くなった排水機場の更新工事を行っています。



早く新しい排水機場が使えるよう、今は機械・電気設備工事を進めています。
河川砂防課 井出主査

人工芝更新工事 淡路市佐野運動公園

第3サッカー場の傷んだ人工芝を張替えました。



人工芝の仕組み (人工芝の下ってどうなっている?)

1本1本の芝は1色だけでなく3色(フィールドグリーン、ライムグリーン、ページュ)をうまく混ぜて自然な芝に見えるようにしています

利用者のひざや腰の負担を減らし、クッション性を高めるための『ゴムチップ』

水はけを良くするための『浸透性のあるアスファルト舗装』



拡大写真

快適にご利用できると思います、是非お越しください。

港湾第1課 高地主査

令和3年度 主な工事

安全・安心で豊かさを実感できる淡路
を目指し、淡路島の各地で社会基
盤の整備を行います。



(野島江崎) 県道福良江井岩屋線
道路護岸補強工事

(岩屋) 淡路島公園
トイレ改修工事
遊具改修工事



(富島) 県道福良江井岩屋線
富島橋橋梁耐震補強工事

(郡家) 一宮海岸
護岸補強工事

(深草) 県道福良江井岩屋線
道路護岸補強工事

(釜口) 浜川
砂防工事



(五色町鳥飼浦) 鳥飼海岸
海岸浸食対策工事

(遠田) 清次郎川
砂防堰堤改良工事

(松帆江尻) 倭文川
排水機場改築工事

(五色町鮎原南谷) 県道洲本五色線
落石対策工事

(松帆西路) 孫太川
排水機場改築工事



(宇山) 宇山地区
急傾斜地崩壊対策工事

(湊) 県道福良江井岩屋線
歩道整備工事

(中川原町安坂) 安坂北谷川
砂防堰堤工事

(湊) 湊港
排水機場改築工事

(津井) 西本村地区
急傾斜地崩壊対策工事

(山添) 三宅川
砂防堰堤設置工事



(阿那賀) 県道阿万福良湊線
桜谷橋橋梁補修工事

(広田) 県道洲本松帆線
擁壁補強工事



(木場) 西淡海岸
離岸堤改良工事

(阿那賀) 県道阿万福良湊線
北川橋橋梁補修工事

(由良町) 由良港
護岸改良工事

南あわじ市

(神代) 諭鶴羽ダム
電気系設備の更新

(阿万西町) 県道阿万港線
古川橋橋梁補修工事



(阿万塩屋町) 本庄川・塩屋川
津波対策(水門設置)工事

(福良) 福良港
湾口防波堤工事

備える

支える

つなぐ

お知らせ

『あわじ足ナビ』を発行しました

淡路島総合公共交通雑誌『あわじ足ナビ』をぜひご利用ください。

観光客が公共交通を利用しやすくするため、高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通の時刻表、乗り換え情報、淡路島内の観光情報を掲載しています。

各市役所、県民局にて無料配布しています。県民局では郵送(郵便代が別途必要です)でも対応しています。



【問合せ先】
(一社) 淡路島観光協会
TEL: 0799-25-5820

淡路島内公共交通の新型コロナ対策について

現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公共交通の利用を避ける傾向にあります。

そこで、淡路島では安心して公共交通を利用いただけるよう、各交通事業者において様々なコロナ対策に取り組んでいます。

さらに、淡路県民局と洲本市・南あわじ市・淡路市では、島内を走るバス・タクシーを対象に6つのコロナ対策を実施していただいた交通事業者に対して助成・補助の支援を行いました。この支援を受けた証として、コロナ対策が実施済みであることを利用者へ周知するため、対象車両へのステッカーを貼付しています。



『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

【お問い合わせ先】

淡路県民局洲本土木事務所
企画調整担当

〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5

TEL：0799-26-2055

FAX：0799-24-4513

URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/

sumotodoboku/index.html

e-mail：sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

【発行：2021年12月3日】

2021

vol.59

知ってる？ダムのこと

淡路島は、瀬戸内気候区に属し、年間を通じて雨が少ないところです。加えて、水がめとなる深い山がなく、河川も急流であるため、降った雨はすぐに海に流れてしまいます。昔から干ばつ被害の多い地域でした。今では、島内に21基のダムがあり、主に灌漑用水(田畑を潤すのに必要な水)をためるために利用されていますが、南部の8つのダムは洪水調整・農地防災の機能があります。



洲本土木事務所では三原川水系で5つのダムを管理しています。



牛内ダム



大日ダム

三原川流域概要図



分水堰



北富士ダム・成相ダム



諭鶴羽ダム

大日ダムをたんけんしよう！



大日ダムの管理所では、5つのダムを統合して管理しています。無線を使って5つのダムの情報収集や遠隔の操作ができます。



ダムのすぐ脇には管理所があります。管理所では下流のため池などに水を補給するために、ダムから出す水の量を調節するバルブ(水道の蛇口のようなもの)の操作などを行っています。

洪水時などは雨量や水位の情報を集めて無線で関係機関に送ったり、洪水時には警報サイレンで注意喚起しています。



ダムの中

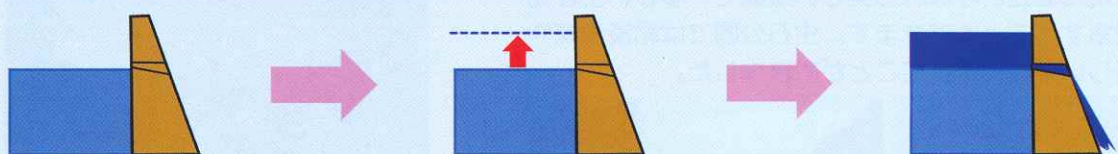
ダムの中には廊下があります。ここでは「監査廊」といって、ダム本体に異常がないか調べるためにダム湖からのわずかな水漏れの量などを測っています。地震計もあるんですよ。

ダムの下流にある警報局

警報局は、洪水時にダムからの放流によって下流河川の水位が急激に上昇することをサイレンやスピーカーで知らせるための施設です。



ダムの役割と効果



ダムには、水害の防止(洪水調節)と水の供給(灌漑用水、水道)という2つの大きな役割があります。大雨で水量が増えると、上流から流れてくる水をダムに一時的に貯め、下流へ流れる量を調節することによって、水害を減らします。

平成16年の台風23号では累計雨量439mmという観測史上最大の豪雨に達しましたが(北富士ダム観測)、三原川水系の5つのダムでは合計最大流入量221m³/sのうち約74%に相当する164m³/sを調整し、下流地域の浸水被害の軽減に貢献しました。

知ってる？ダムのこと・・・ 歴史あるダム！旧成相池堰堤が土木遺産に認定！

土木遺産とは…先人の偉大な発想や様々な苦勞の末につくられ、私たちの社会や生活に大いに役立った歴史的土木施設を、社団法人土木学会が“土木遺産”として認定しています。淡路島のダムでは、右の写真の上田池堰堤（平成20年認定）に次いで2例目になります。



平成12年に成相ダムができたため、旧成相池堰堤は水没して上の部分だけが水面からのぞいています。



水没前の成相池堰堤です。昭和25年に完成した農業用ダムでした。



こちらは昭和7年完成で平成20年に土木遺産に認定された上田池堰堤（今も現役の農業用ダムです）

ダムカードもらえます！

ダムを訪問していただいた方に、ダムの目的やダムの形式などを記載した『ダムカード』を配付しています。

配付場所及びお問い合わせ先は、県ホームページに掲載しています。

三原川水系ダム統合管理所(大日ダム管理所) TEL 0799-52-2929



全国のダムカードを集めてみよう！

最近の工事のようす

道路護岸補強工事 淡路市深草

老朽化した石積み護岸を補強する工事を行いました。



張りコンクリートにより護岸を補強し災害に強い道路をつくりました。
(道路第1課 増田課長補佐)

道路の災害について

洲本灘賀集線 洲本市中津川組

8月の大雨により、舗装の下に水が浸透することによる道路の陥没や道路の排水が一箇所に集中して流入することによる路肩崩壊などの災害が発生しました。



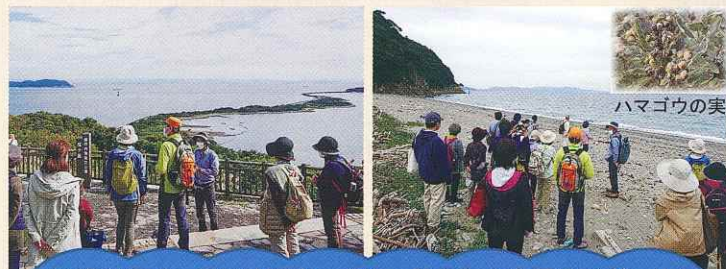
早期の復旧を目指し、道路の機能回復に努めます。
(道路第2課 上砂、石坂職員)

お知らせ

「淡路島百景」を歩く講座(第3回)～洲本市由良地区～を開催しました

10月24日(日)、「淡路島百景」に選ばれた成ヶ島や生石公園を巡るまち歩きをしました。「成ヶ島を美しくする会」からガイドをお招きし、渡し船でしか行くことができない成ヶ島の景観・歴史について、解説していただきました。

成ヶ島は淡路橋立と呼ばれる美しい景観で、珍しい生き物や植物を観察することもできます。生石公園では紀淡海峡や成ヶ島の美しい景観を楽しむことができました。



淡路島には、自然や歴史、文化、私たちの生活などが一体となった、たくさんの素晴らしい景観があります。皆さんとともに淡路島の優れた景観を守り育てることができればと思います。
(まちづくり建築課 坂上主査)

緑化学習教室

保育所や幼稚園、小学校などの校庭にて、幼児等を対象とした寄せ植えの出前講座を行いました。



自分達で植えた花をこれからも大切に育てていってくれと嬉しいです。
(まちづくり建築課 池田職員)

『あわじ足ナビ』を発行(9月18日改訂版)しました



淡路島総合公共交通雑誌『あわじ足ナビ』をぜひご利用ください。

観光客が公共交通を利用しやすくするため、高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通の時刻表、乗り換え情報、淡路島内の観光情報を掲載しています。

各市役所、県民局にて無料配布しています。県民局では郵送(郵便代が別途必要です)でも対応しています。

【問合せ先】
(一社)淡路島観光協会
TEL: 0799-25-5820

詳しくはホームページ



あわじ足ナビ 検索

【お問い合わせ先】

淡路県民局洲本土木事務所
企画調整担当

〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5

TEL：0799-26-2055

FAX：0799-24-4513

URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/

sumotodoboku/index.html

e-mail：sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

昔の写真でみる淡路の社会基盤 ～河川・道路編～

淡路島内で整備されてきた社会基盤はどのような役割を担ってきたのでしょうか。昔の写真を振り返りながら考えてみましょう。

洲本市物部 洲本川

昭和29年



※樹林舎「淡路島今昔写真集」より 提供=久保田 浩子氏

左の写真は昭和29年当時の洲本川銀橋からの風景です。近くの生徒たちが土手に座って写生しています。

現在



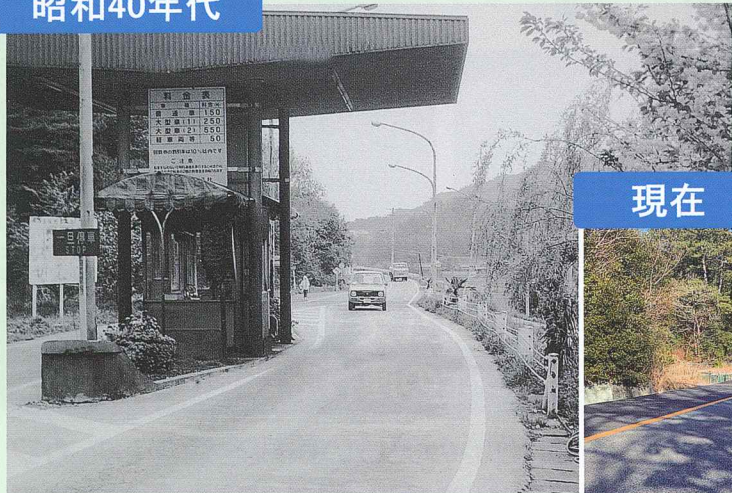
現在の写真は、少しわかりにくいですが、水害が起きにくくするための改修(平成16年～23年)によって川幅を拡げるとともに、コンクリートの護岸を張り、川底を掘り下げています。また、小段を設けて植生を豊かにするなど、環境にも配慮しています。

河川改修によって浸水被害の低減において一定の効果がありますが、近年は全国的にも想定外の豪雨が発生していますので、普段からハザードマップなどで浸水想定区域をみるなど、防災の意識をもっておきましょう。

南あわじ市志知

県道 阿那賀市線(477号)

昭和40年代



※樹林舎「淡路島今昔写真集」より 提供=南あわじ市

現在

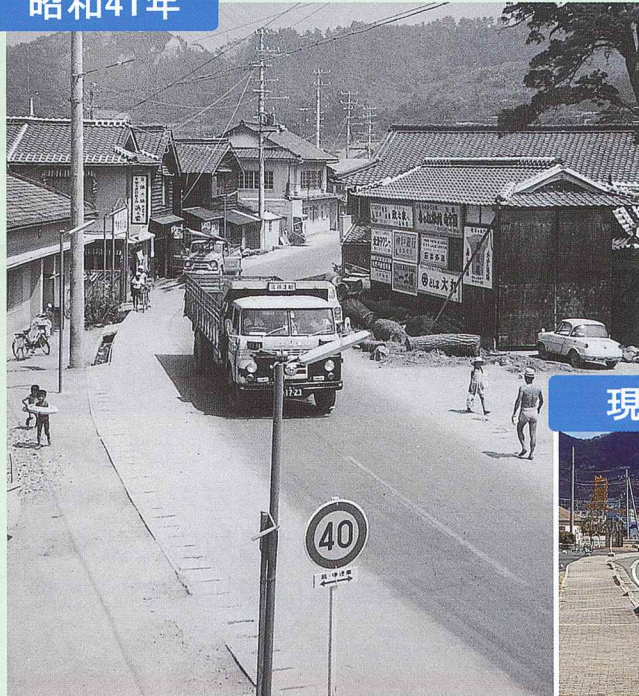


左の写真は昭和41年に開通した南淡路道路(うずしおライン)です。阿那賀のフェリー乗り場(現在は廃止)へのアクセスと地域住民が便利に使えるように有料道路事業で開通しました。

淡路市富島

県道 福良江井岩屋線(31号)

昭和41年



左の写真は富島の中心部です。道路の左(西)側には明石行きの乗船場につながる通路がありました。

現在

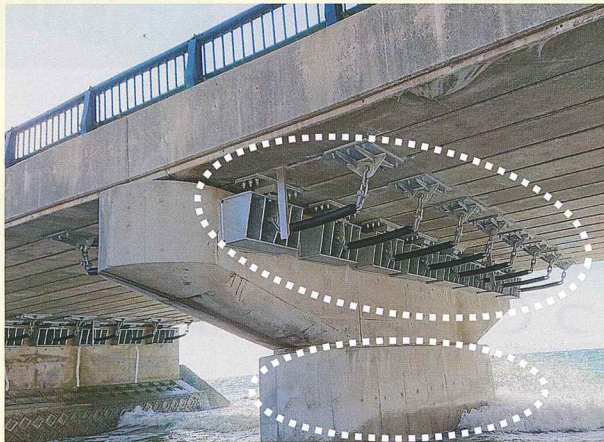


※樹林舎「淡路島今昔写真集」より

昭和20年代後半から車社会が到来し、国内の道路整備が進み始めました。昭和30年代に入りマイカー保有台数も伸びていき、淡路島でも主要道路の整備が進みました。これに伴い、汽船会社も次第にその姿を消していきました。

最近の工事のようす

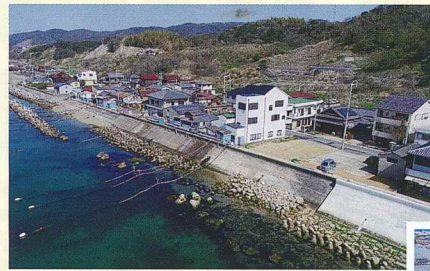
淡路市深草 草香橋 橋梁耐震補強工事



県民の皆さんの安全・安心のため、耐震補強(橋脚の補強、落橋防止システムの設置)工事を行いました。
道路第1課 担当
坂口職員・太田職員

1995年に完成した草香橋ですが、阪神・淡路大震災前の耐震基準でつくっており、今の基準に合っていないでした。

淡路市一宮海岸 護岸補強工事



高潮・波浪から町を守る護岸を新しくし、安全・安心を確保しました。
港湾第1課 担当 松本職員

護岸のコンクリートが劣化し、将来、護岸の破損沈下が心配されていました。



南あわじ市阿那賀海岸 離岸堤改良工事

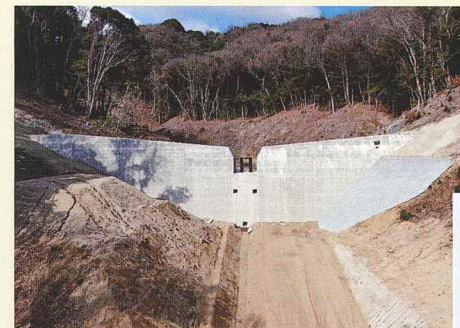
陸上部への越波被害を低減するため消波ブロックによる既設離岸堤の高上げをしました。
港湾第2課 担当 山崎主査



背後への越波被害が懸念されていました。



洲本市 安坂北谷川砂防堰堤設置工事



住民の安全を確保するため、砂防堰堤の工事を行いました。
河川砂防課 担当 中嶋職員

近年、日本各地で豪雨による土石流が発生しており、その被害防止・低減の取り組みが必要となりました。



お知らせ

福良港湾口防波堤工事 見学会を開催しました。

淡路県民局洲本土木事務所では、福良港において、南海トラフ津波対策事業として湾口防波堤等の整備を進めています。整備する水門の1つである「煙島水門」は全国的にも珍しい浮上式水門(海底設置型フラップゲート)というもので、西日本で初の採用となります。

煙島水門のことや福良港湾口防波堤整備の進捗状況、整備効果などをより知っていただくため、令和3年12月16日(木)、地域住民、報道関係などを対象に見学会を開催しました。

湾口防波堤 施設位置図



『土木の日』PRイベントとして『パネル展示』を令和3年11月15日~22日に開催しました。

洲本バスセンター待合所内テナントスペースで『土木の日』をPRするパネル展示を開催しました。県民の皆さんに、道路・河川などの社会基盤の整備や災害時における対応の重要性を理解していただき、土木技術や土木事業に親しんでいただくため、毎年、11月に開催しています。



『土木の日』の由来 ~11月18日は土木の日~

『土木』という2文字を分解すると、『土』は『十一』に、『木』は『十八』となることから、土木学会が11月18日を『土木の日』と決めました。

令和3年12月1日より高速バス『北淡路西海岸ライン』の運行を開始しました。

北淡路西海岸は、近年、海沿いの美しい景観を活かしたカフェやレストラン等がオープンしており、島外からも多くの観光客が訪れています。この高速バスは、神戸三宮バスターミナル・高速舞子から北淡インターまでの間を11往復(土日は10往復)し、『県立淡路島公園』『野島大石』『富島東』など島内9箇所の停留所を巡ります。

神戸から西海岸の観光施設へのアクセスだけでなく、島内だけの利用も可能とし地元住民の利便性も向上しています。

